

# 市議会めんな話・くんな話

〜第2話〜

## 「謎のちようちん」

議長室に、年季が入ったちようちんが飾ってあります。このちようちんは、今から20数年前、鹿児島市議会が100周年を迎えるにあたり、記念行事を案内するパンフレットの写真として掲載されたことがきっかけで、話題になったようです。

市議会の倉庫に保存されていたこのちようちんは、高さ約50センチの「御用ちようちん型」で、「鹿児島市議会」と書かれ、市の紋章が付いていました。紋章が制定された大正15年以降のものであることは確かなものの、ベテラン議員や事務局のOB職員に問い合わせても、いつごろ作られ、何に使ったものか分からずじまいでした。

このことが地元紙に掲載されたところ、製作者本人から連絡がありました。

製作者によると、このちようちんが作られたのは昭和23年ごろで、ちようちんに入っている文字や紋章も製作者の自筆とのことでした。また元議員の家族などから寄せられた情報では、夜の火事や水害の見舞いに使ったものようです。



鹿児島市議会ちようちん